

令和3年（2021）6月 1日

令和3年度（2021）

第2回出雲市議会(定例会)

施政方針質問通告一覧表

令和3年度（2021）第2回出雲市議会（定例会）  
 施政方針質問通告一覧表 目次

6月1日（火） 10:00開会			
順 番	会 派 名	議 員 氏 名	ペー ジ
1	真 誠 ク ラ ブ	川 上 幸 博	3、4
2	平 成 ク ラ ブ	西 村 亮	5、6
3	政 雲 ク ラ ブ	大 場 利 信	7～9
4	公 明 党	福 島 孝 雄	10、11
5	市 民 ク ラ ブ	大 谷 良 治	12、13
6	日 本 共 産 党	後 藤 由 美	14～16

質問者	28	真誠クラブ	川上 幸博
-----	----	-------	-------

質問事項・質問内容

(1) 所信について

- ① 地域が抱える課題に応じて対策を講じ夢が描ける出雲、地域の潜在力向上に努めるとあるが、行政センター単位で具体的に課題と対策を伺う。
- ② 出雲市の持つ多面的な特性をどのように引き出し具現化していくのか。
- ③ 宍道湖、中海圏域を出雲市の市長としてけん引するためにどのような振興策がありますか。
- ④ 市民とのかかわりについてどのように市民と向き合い、市政を発信されるのか伺います。

(2) 市政運営のポイントについて

- ① 新型コロナウイルスについて
  - ア 国からのワクチン供給状況
  - イ ワクチン接種の予約状況
  - ウ 高齢者のワクチン接種の交通手段についての対応
  - エ コロナに関しての対策費及び支出項目
  - オ 市全体の事業損失
  - カ 短期、中期に及ぼす財政への影響と将来負担についての考え
- ② 人口減少対策について
  - ア 国勢調査速報値の人口増加要因の分析
  - イ 市内間での人口移動状況
  - ウ 人口拡大に向けた「中山間地域支援室」及び地域おこし協力隊員の増員によって得られる効果
  - エ UIターン推進への具体策は
  - オ 現在の出雲市の子育て支援制度における課題と今後の支援策について
- ③ 脱炭素社会の実現
  - ア 「脱炭素のまち出雲」実現に向けた道筋はどのように考えるのか伺います。
- ④ デジタルファーストの推進
  - ア 市民にとってデジタル技術推進の恩恵とは何か。
  - イ 出雲市としてのマイナンバーカードの多様な利用法を考え、利用率の向上を図るべきと思うがいかがか

(3) 出雲未来図について

- ① 雇用創出2500人プロジェクトについて
  - ア 地場中小・小規模企業支援策の検証と今後の支援策は
  - イ 高校生や大学生に対し地場企業の情報提供により認知度を向上させることにより人材を確保してはと考えるがいかがか。

ウ 「人・農地プラン」農地利用の目標地図作製は、どのような経営体の育成を求められるのか。空き家活用も含め、家と農地をセットにしたUIターンの促進や外国籍の市民への農業従事者育成に取り組む考えはないか。

エ 農業におけるデジタル化の推進の考えは。

オ 基幹産業としての農業ビジョンを伺います。

② 交流人口1200万人プロジェクトについて

ア 出雲の認知度アップ策として具体的な発信策は

イ 観光地が点在しているが、それを繋ぐ線の整備への考えは。

ウ 出雲インターをどのような玄関口にするのか。将来計画を示していただきたい。

③ 住みやすさナンバー1プロジェクトについて

ア 斐伊川・神戸川および新内藤川水系への完成目標を設定するよう国、県に求めていただきたいが出雲市の今後の対応について伺う。

(4) 全体のまとめとして

① 従来の事業の検証と新たな課題抽出が大切と思うが市長の考えは。

② 施政方針の目標設定は大切ですが、短期、又は、4年間で行うべき具体的事業計画を示していただきたい。

質問者	21	平成クラブ	西村 亮
-----	----	-------	------

質問事項・質問内容

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

① ワクチン接種予約

- ア 感染症収束に不可欠であるワクチン接種を迅速かつ円滑に実施する様、万全の体制で取り組むと述べられているが、疑問点が見受けられるが如何か。
- イ ワクチン接種の予約が非常に取り難く、高齢者の皆様から苦情が殺到しており、電話を何回してもつながらず、後日つながった時は「予約は終了しました。後日電話下さい」との案内があり憤慨し疲労困憊していらっしやいます。如何お考えでしょうか。
- ウ 他の自治体を実施している行政サイトから、高齢の方から順次日時を設定して接種券を交付する方法が混乱もなく、スムーズで最善の策と考えるが所見は。

(2) 子育て支援・人口減少対策

① 定住対策

- ア 市長は出雲で結婚し子どもを産み育てたいと希望する若い世代を支えるため、結婚から子育てまで支援や子育てと仕事の両立支援の充実を図るとの事ですが、具体的にどの様な施策を講じられるのかお伺いします。

② 子育て支援

- ア 第2期子ども・子育て支援事業計画で安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図り、子ども医療費助成の拡充を図るとともに、保育所については待機児童ゼロを目指して保育所の増改築や保育士の確保・定着化を支援し、利用希望の多い地区は定員増を図るとされているが、すべて可能か伺う。

(3) 農林水産業の課題

① 担い手不足と経営体質

- ア 農林水産業は本市の基幹産業であり、維持・発展は重要な課題であり、担い手の育成、経営体質の強化、拡充は出雲市として取り組む最重要施策と考えるが、所見を伺う。
- イ 出雲農業未来の懸け橋事業や新出雲農業チャレンジ事業で産地の維持拡大や担い手育成を進め、中山間地域農業への支援や農作業の効率化を図るスマート農業の普及、農家所得向上を目指す具体策は。

② 水産業対策

- ア 漁業者による資源回復やブランド化の取り組み、水産物の消費拡大、出雲で獲れる魚介類を身近に感じ出雲の海の魅力を発信する施策を伺う。
- イ 市管理漁港の保全工事を進めるとされているが、予算の拡充が不可欠と考えるが如何か。

(4) 安全・安心のまちづくり

① 防災対策

- ア 防災行政無線戸別受信機やいずも防災メール加入状況と加入促進の取り組みを問う。
- イ 消防救急体制について年次的消防緊急通信指令施設を更新されるが簡単に説明してください。
- ウ 消防団について団員確保や待遇改善が課題であり検討組織を立ち上げるとあるがメンバーをお尋ねします。

② 原子力防災対策

- ア 原子力防災対策について周辺自治体と連携して中国電力に対し、立地自治体同様な安全協定の締結を求めるとあるが、中国電力の反応を伺う。
- イ 私は島根県に相談されてはと考えるが市長の考えは。

質問者	22	政雲クラブ	大場 利信
-----	----	-------	-------

質問事項・質問内容

(1) 所信について

- ① 初の市長選挙に立候補をされ、市民の方から市政に対する様々な意見や要望を聞かれたことと思います。次の2点について伺います。
  - ア 多かった意見や要望
  - イ 今後4年間の市政運営への反映
- ② 地域経済の発展、財政健全化、民間経営感覚の発揮について
  - ア 市長が示された「地域経済の発展が財政健全化に貢献し、財政健全化が市民サービスの向上に寄与する」という望ましい循環論には異論ありませんが、低成長経済、少子高齢化、社会保障費の膨張、更には近年の新型コロナウイルス対策という情勢の中、財政の役割はますます重要になってきていると考えます。また、民間出身の市長として利益が具体的な数字として表れないことに歯がゆい思いをしておられることと思います。以上述べたことを前提に以下伺います。
    - a 義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が年間予算の半分以上を占めて本市の財政実態に対する所感
    - b 地域経済の浮揚策としての財政の活用、例えば一時的にバランスシートを悪くする市債の発行や市民からニーズが多く投資効果の高いと思われる普通建設事業の実施
    - c 不断の行財政改革の実行。これは、痛みを伴う人や地域と十分に話し合うとともに、議会と十分に協議をしていただきたい。
- ③ 市役所あるいは市職員の行政執行態度について市民に寄り添っていない、組織間の連携が不十分、熱意ややる気が見られないなど様々な意見を聞きます。市長は職員に関し、市民との対話や交流を通して、市民目線で物事を捉え、地域と積極的に関わる職員を育てることにより、市民に寄り添い信頼される市役所を目指すと表明されておりますが、これに言及された意図を伺います。
- ④ 関連して、市民から信頼される市政を実現するには、市民に開かれた組織風土を醸成し、市民（民間）との協働あるいは市民参加によるまちづくりという視点が必要と考えます。これについて伺います。

(2) 市政運営のポイントについて

- ① 新型コロナウイルス感染症対策
  - ア 感染予防やワクチン接種については国・県や地域の医療関係者との連携により万全の体制で進めていただきたいが、地域経済や観光については状況を見て臨機応変な対応を望みますが、伺います。
  - イ 安定した医療提供体制の維持のため、市としては国や県に対しどのような働きかけを行っているか、伺います。
  - ウ 新型コロナウイルスの感染不安が過剰になり人権上の差別につながることを政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会長の尾身茂氏も訴えておられます。市民へのメッセージに採用すべきと考えますが、伺います。

## ② 脱炭素社会の実現について

ア これについては今まで行政や民間・市民で地道に取り組まれてきていますが、今回「ゼロカーボンシティ」あるいは「脱炭素のまち出雲」への挑戦を宣言され、「ゼロカーボン推進室」も設置されようとしております。スピード感ある対応と考えますが、当該室において具体的にどのような事業に取り組むのか伺います。

## (3) 主要施策・主要事業について

① これらの施策・事業は前市長からの継続事業が殆んどですので、ここではその後取り組まれようとしている事業を中心に質問します。

ア 雇用創出2, 500人プロジェクトについて

- a 少子化の下、日本人人材の不足が市内企業、特に中小企業・小規模企業あるいは介護施設で深刻であります。これに代わるものとして外国人住民、特に日系ブラジル人住民の就労がクローズアップされています。県の出雲高等技術校においても日系ブラジル人の市内企業等への就労支援のため職業訓練に動き出そうとされています。入校への支援等があれば伺います。
- b 農業について、米以外の市場評価の高いぶどう、柿、菌床シイタケ、イチジク等の新規就農者、規模拡大を行う農業者への支援について、生産面、販売面の具体的支援について伺います。

イ 定住人口キープ17万人プロジェクトについて

- a 自治会加入者が減少しつつある中、自治会の脱退防止を喫緊の課題と捉え、専門家のアドバイスを受け、住民ニーズに答える自治会づくりを支援する旨言及しておられるが、これについて伺います。

ウ 交流人口1, 200万人プロジェクトについて

- a 山陰道の出雲インターチェンジ以西の開通を見据え周辺地域が本市の西の玄関口となるよう将来展望すると言及されていますが、今後の具体的な検討内容を伺います。

エ 住みやすさNo. 1プロジェクトについて

- a 災害時の要支援者の個別避難計画の策定状況を伺います。
- b 島根原子力発電所2号機の再稼働に対する市としての対応について、今後のスケジュールを伺います。
- c 消防団の検討組織について、どのような組織と検討スケジュールか伺います。
- d 虐待等の困難を抱える児童や発達支援が必要な児童や家庭への支援あるいは複雑化した課題を抱える世帯への総合相談体制について、具体的な内容を伺います。
- e 学校教育におけるICT教育を推進する「いずもGIGAスクールプラン」を実行するに当たり、児童・生徒への教育上課題、例えばコミュニケーション能力の低下、過度な機器依存などについて伺います。
- f 社会教育計画の見直しについて見直し内容とスケジュールを伺います。

## (4) 組織・機構の改革について



- ① 就任早々から矢継ぎ早に3つの室を新設されたが、その意気込みを伺います。
- ② 多様化する教育課題に対応するため副教育長の職を設けることとされたが、副教育長が担う職務内容は何で今の体制では不十分か。

#### (5) 結びについて

- ① コロナ禍は「あらゆることを見直す絶好の機会」と認識しておられますが、想定しておられる見直す項目を伺います。
- ② コロナ禍による見直しを経たのちに策定される総合振興計画については、策定のプロセスを明確にするとともに議会と十分に協議をしていただきたい。また、今年度で期限が切れる中期財政計画についても議会と協議していただきたいが、これについて伺います。

質問者	20 公明党 福島 孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 「所信」について	
<p>① 「市政のかじ取り」</p> <p>ア 地域が抱える課題と対策の具体的内容を伺う。</p> <p>イ 「力強い地域経済の実現」と「健全な財政運営」の進め方を伺う。</p>	
(2) 「市政運営のポイント」について	
<p>① 「新型コロナウイルス感染症対策」</p> <p>ア 高齢者のワクチン接種を7月末までに完了とする政府目標に対する市の見解を伺う。</p> <p>イ 65歳未満の接種予約受付への課題と対策を伺う。</p> <p>ウ 安定した医療提供体制の維持に向けての国・県への具体的要望内容を伺う。</p> <p>② 「人口減少対策」</p> <p>ア 近隣自治体より優る、結婚から子育てまでの切れ目のない支援の内容を伺う。</p> <p>イ 庁内横断的なワーキングチームの内容を伺う。</p> <p>③ 「脱炭素社会の実現」</p> <p>ア 「ゼロカーボンシティ」による市民及び、産業のメリットを伺う。</p> <p>④ 「デジタルファーストの推進」</p> <p>ア 「出雲市デジタルファースト推進計画」推進に向けての課題を伺う。</p> <p>イ 外部専門人材の選考と役割を伺う。</p> <p>ウ マイナンバーカードの普及と利活用の充実策を伺う。</p>	
(3) 「雇用創出2,500人プロジェクト」について	
<p>① 「商工業」</p> <p>ア コロナ禍における販売拡大に向けての市の施策と役割を伺う。</p> <p>イ 中心市街地の活性化に向けての課題を伺う。</p> <p>ウ コロナ禍における市内人材確保に向けての取り組みを伺う。</p> <p>② 「農林水産業」</p> <p>ア 営農組織・個人農家の今後の担い手確保に対する施策を伺う。</p> <p>イ 高収益作物への転換の見通しを伺う。</p> <p>ウ スマート農業の普及と農家所得向上の関連性を伺う。</p> <p>エ 今後の農地集積の見通しと耕作放棄地の解消策を伺う。</p> <p>オ ため池の長寿命化・防災減災に向けた予算確保について伺う。</p> <p>カ 有害鳥獣対策でイノシシ捕獲檻増設に対する捕獲員への影響と捕獲目標を伺う。</p>	

キ 鳥獣被害防止のためのスマート（I o T）技術の導入の考えを伺う。

#### (4) 「住みやすさNO. 1プロジェクト」について

##### ① 「安心・安全」

ア 防災ハザードマップを全戸配布する際に、防災行政無線戸別受信機の有効性及び、申込書の添付の考えを伺う。

イ 消防団確保に向けた検討組織の概要を伺う。

ウ 斐川町の渋滞解消に向けての道路整備（都市計画道路他）と新川中央線の歩道整備の計画を伺う。

エ 障がい者福祉の「ささえ愛サポート」の普及、促進について伺う。

##### ② 「人材育成」

ア 「いずもG I G Aスクールプラン」Plan4「つながり方」の取り組みについて伺う。

イ 「出雲市社会教育計画」の今までの評価と今後の目指すものについて伺う。

ウ 子どもの発達段階に応じた読書活動の支援として中学校での学校司書の配置の考えを伺う。

##### ③ 「環境」

ア 下水道の「ストックマネジメント計画」作成及び、今後の公共下水と農業集落排水の長寿命化の取り組みについて伺う。

#### (5) 「組織・機構の改革」について

##### ① 「課・室の組織改革」

ア 「中山間地域振興室」の具体的役割と目標を伺う。

#### (6) 「結び」について

##### ① 「総合振興計画」

ア 優先すべき課題について、コロナ感染拡大により経済の停滞が続く場合と、ワクチン接種の効果により経済が上向き傾向になった場合の「総合振興計画」の考え方を伺う。

##### ② 「持続的・安定的な財政運営」

ア 安定的な財政運営を図る上で「新公会計」の活用の考えを伺う。

質問者	16 市民クラブ 大谷 良治
質問事項・質問内容	
(1) 「所信について」	
<p>① 所信について</p> <p>ア 市長選挙を通して市民から寄せられた期待</p> <p>    a 選挙戦で様々な要望等、課題が見つかったと思いますがそれをどのように活かしていくのか</p> <p>イ 市政のコーディネーターの役割として、本市の潜在力をどこに見ているのか</p> <p>ウ 出雲市が誇る産業集積や地域資源を活かし、宍道湖圏域を牽引する中核都市としてリーダーシップを発揮していただきたい。具体策があれば伺います</p>	
(2) 市政運営のポイント	
<p>① 人口減少対策について</p> <p>ア 令和2年度の国政調査の速報値では、県内唯一の人口増加を果たすことができたが、人口減少が進む山間部や、海岸部では地域コミュニティの維持が危ぶまれている。今後、人口の二極化対策について伺います</p> <p>    a うみ・やま応援センターのこれまでの取り組みと成果・今後のサポート体制の拡充内容・期待できる効果</p> <p>    b 庁内の横断的なワーキングチームの具体的な体制内容（市内部の推進体制）について</p> <p>② 脱炭素社会の実現について</p> <p>ア 出雲市が実現を目指すカーボンニュートラルとはどのようなものか</p> <p>③ デジタルファーストの推進</p> <p>ア デジタル技術の環境づくりについて</p> <p>    a これまでの取り組みと課題</p> <p>    b デジタル化で補えないものや、情報格差により、恩恵を十分に得られない市民に対する対策</p> <p>イ 出雲市のデジタル行政の展望</p>	
(3) 「雇用創出2,500人プロジェクト」	
<p>① 商工業について</p> <p>ア 地域商業の再生・活性化について、空き店舗の開業支援や中心商店街の賑わい創出の実績と具体策を伺う</p> <p>イ 市内企業の人材確保対策における現状と課題</p> <p>② 農林水産業について</p> <p>ア 出雲農業未来の懸け橋事業や新出雲農業チャレンジ事業による中山間地域農業への支援の取り組みと効果</p> <p>イ これまでの飼養・品質向上への取り組みと全国和牛能力共進会にむけた今後の具体策について伺う</p>	

- ウ 有害鳥獣被害対策の支援について
  - a 具体的内容（増設数・予算）
- エ 水産物の消費拡大について
  - a 具体策

#### (4) 「定住人口17万人プロジェクト」

- ① コミュニティ活動の推進について
  - ア 自治会づくりの支援の具体的取り組み
  - イ コミュニティセンターの施設耐震補強・改修方針について
    - a 現在の取り組みと今後のスケジュール
- ② 公共交通ネットワーク
  - ア 「出雲市地域公共交通計画」策定期間について
    - a 今後のスケジュール

#### (5) 「交流人口1,200万人プロジェクト」

- ① 観光誘客・交流
  - ア 3つのプロジェクト「日が沈む聖地出雲・ジオパーク・国立公園満喫」の今後の具体的施策について
    - a 新たな情報発信等、景観デザインなど今後の整備スケジュール

#### (6) 「住みやすさNo.1プロジェクト」

- ① 安全・安心のまちづくり
  - ア 「ささえ愛サポート」の活動方針について
    - a 提供体制の機能内容

#### (7) 「組織・機構の改革」

- ① 「組織・機構の改革」
  - ア 課・室の組織改革
    - a それぞれの体制
  - イ 組織改編における意義・効果などについて伺います
    - a 機構改革も市長の強いリーダーシップが必要、職員の基本的な心構えとして職員に何を求めるのか、市長の思いと決意

質問者	11 日本共産党 後藤 由美
-----	----------------

質問事項・質問内容

(1) 施政方針策定にあたっての、市長の政治姿勢について

① 「所信」全般について

ア 市長は「市民一人一人が輝き、夢が描ける出雲を創造するとともに、市政のコーディネーターとして、本市が持つ潜在力を引き出し、更なる魅力の向上を図っていく」とされている。現在市民のくらしは消費税の増税、コロナ感染、年金の削減などでますます厳しさを増しているが、市長は市民のくらしの実態をどうとらえているのか、認識を伺う。

イ 地方自治体の役割は、地方自治法に明記してある通り「住民の福祉の増進」であり、市民のくらしと命を守り、福祉を充実させることである。市長の認識を伺う。

② 「行財政改革」のあり方について

ア 市長は、「本市の活力を維持し、市民の豊かで健やかな暮らしを支えていくためには『地域経済の発展が財政健全化に貢献し、財政健全化が市民サービスの向上に寄与する』という望ましい循環を創出していく必要がある」とされている。そもそも行財政改革は住民の福祉・暮らしを守るために行われるべきだが、現在、財政健全化のため市民サービスの削減・後退となっているという、本末転倒の実態がある。この現状を市長はどう認識しているのか、伺う。

(2) 「新型コロナウイルス感染症対策」について

① 感染症対策の考え方について

ア 「新型コロナウイルス感染症対策」が、新型コロナウイルスとの共存を前提とした社会、いわゆる「ウィズコロナ」対応となっている。しかし「ウィズコロナ」ではなく「コロナ封じ込め」戦略を目標にしなければ、命が損なわれ社会の疲弊が深刻になっていくことを止められないと考える。市長の認識を伺う。

② ワクチンの迅速な接種について

ア 市長は「ワクチン接種を迅速かつ円滑に実施できるよう万全の体制で取り組む」とされ、「国や県に対し医療従事者の確保や医療機関への支援制度の充実を働きかける」と言われている。現状を伺う。

イ ワクチン接種は極めて重要だが、それだけでは感染を封じ込めることはできない。高齢者施設・医療機関などに対する社会的検査とともに、無症状感染者を見つけ出すための大規模検査で感染を封じ込めることが重要と考えるが、市長の認識を伺う。

③ 事業者の事業継続支援について

ア コロナの影響で大変厳しい影響を受けている事業者の事業継続の下支えとして、感染予防対策や新事業展開への支援、消費喚起事業などに取り組んでいるとあるが、求められているのは国や県、市からの直接給付である。「出雲市中小企業等緊急支援給付金」などの対象を拡大し、予算増を求めるが、市長の所見を伺う。

#### ④ 総合医療センターについて

ア コロナ禍において、地域医療を支えているすべての医療機関、医療従事者への支援が急務であることを誰もが痛感している。「出雲医療圏で果たすべき役割を着実に実行する」ためにも、国の「公的・公立病院の統廃合計画」は撤回するよう国に求めるべきだが、市長の所見を伺う。

### (3) デジタルファーストの推進について

#### ① 「出雲市デジタルファースト推進計画」について

ア 国が成立させたデジタル関連法の最大の問題は、個人情報保護より利活用を優先することであり「デジタル社会形成基本法」には「個人情報保護」の文言もない。また、自治体独自の業務が「行政の効率化」「財政健全化」を理由に削られていくなど、国と自治体の関係を大きく変える内容を含んでいる。デジタル関連法について、市長の認識を伺う。

イ 行政のデジタル化は、デジタル技術を使える人と使えない人の間で行政サービスに格差が生まれる恐れ、また、多様で多面的な住民サービスに応えることが困難になる恐れがあると認識しているが、市長の所見を伺う。

### (4) 産業振興のあり方について

#### ① 企業誘致のあり方と新工業団地整備について

ア 企業誘致に一律反対ではないが、誘致企業の中でもとりわけ大企業の事業者に対し、多額の補助金が支払われている。利益を上げている大企業になぜ財政難の自治体が補助金支出を続けるのか。誘致企業への行きすぎた補助制度は見直すことを求めるが、所見を伺う。

イ 新工業団地整備がまた計画されている。誘致企業だのみの産業振興策は改め、地場産業、地元の中小企業支援へと軸足を移すべきと考えるが、所見を伺う。

### (5) 農業振興について

#### ① 農業施策について

ア 全国的に今農村では「このままでは米が作れなくなる」と危機感が広がっている。コロナ禍による米の需要激減で在庫が増大し、2020年産の米価が下落していることに加え、21年産の米価も暴落が懸念されている。この事態を打開するために、出雲からも米価下落対策を国にしっかり要求すべきである。市長の認識を伺う。

#### ② 担い手の育成について

ア 農業従事者の高齢化と減少で耕作放棄地も広がる事態を打開するためには、後継者や非農家からの新規参入を増やすことが重要である。そのためには、米政策を転換させ価格の保障を中心に所得補償と組み合わせることが決定的と考えるが、市長の認識を伺う。

### (6) 島根原発の再稼働について

#### ① 「住民避難計画」について

ア 住民避難については「適時計画の見直し」を行うとし、「原子力防災の実効性を高める」とある。実効性ある避難計画は重要だが、そもそも可能なのか疑問である。市長の所見を伺う。

#### ② 「立地自治体と同様な安全協定」の締結について

ア 原発のない社会を求める声は圧倒的多数になっている。中国電力と協定を締結し、原発の再稼働にストップをかけることが期待されている。市長の安全協定締結に向けた決意を伺う。

③ 島根原発2号機の再稼働について

ア 「安全・安心のまちづくり」を目指すのなら、再稼働を中止させ、危険な原発をなくすことこそ求められている。2号機の再稼働については市民の要求にこたえ、市長が「再稼働反対」と決意していただきたいが、所見を伺う。

(7) 子育て支援と健康・福祉の増進について

① 「子どもの医療費助成」のさらなる拡充について

ア 4月に拡充された子どもの医療費助成で、子育て家庭の経済的負担の軽減が図られた。今後はすべて子どもの医療費を中学校卒業まで無料を求めたい。一方、住民税非課税世帯は負担増となった。コロナ禍でもあり、住民税非課税世帯への負担増は撤回を求めたい。市長の所見を伺う。

② 高齢者福祉について

ア 高齢者の社会参加を促すためには、今国会で審議中の75歳以上の医療費窓口負担2倍化は高齢者の健康を悪化させるものであり、絶対認められない。国に対し、撤回を求めるべきだが、市長の認識を伺う。

(8) 「新体育館」と平田体育館など既存の体育館について

① 市民のスポーツ活動の振興について

ア 「体育協会の活動やスポーツイベント開催への支援等を行い、市民のスポーツ活動の振興に努める」とある。そのためには、大型ではない中規模の体育館が市民の身近なスポーツ施設として大事と考えるが、市長の所見を伺う。

② 3つの体育館は廃止ではなく存続を

ア 廃止予定の体育館の中でも、特に平田体育館は現在の利用者から「なくなったら困る」「平田にはここしかない。改築して存続させて」との声が広がっている。廃止予定を撤回し存続を求めるが、市長の所見を伺う。